

魅力がたくさん！丘陵のまち

Tama New Town

多摩ニュータウン





魅力がたくさん！丘陵のまち 多摩ニュータウン

多摩ニュータウンは、戦後の高度経済成長期に良好な居住環境を提供するため、東京都南西地域に計画・開発されました。総面積は約 2,853 ヘクタールにおよび、八王子市・町田市・多摩市・稲城市の4市にわたって、東西約 14 キロメートル、南北約 2～3 キロメートルになる広大なエリアです。

多摩丘陵の自然と地形を生かした美しいまち並みは、いたるところで見受けられます。歩行者専用道路が張り巡らされ、学校や公園、駅前までも車道を横断することなく移動できます。自然豊かな公園が多くあり、人口当たりの公園面積は十分な広さで、暮らしやすい環境が整っています。

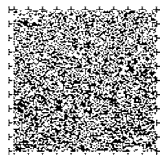


目次

魅力がたくさん！丘陵のまち 多摩ニュータウン	1
緑が多く、美しく整備されたまち	3
商業施設や観光スポットに多くの人が集まる、魅力あふれるまち	4
文化や学びが育まれるまち	5
交通ネットワークに優れたまち	6
多摩ニュータウン再生への取り組み	7
サイクリストに人気の多摩ニュータウン サイクリングロード	9
自転車トレーニングに最適“南多摩尾根幹線道路”	10
多摩ニュータウンを構成する4市の紹介	
八王子市	11
町田市	12
多摩市	13
稲城市	14

コラム

魅力的な観光スポットは近郊にも	4
災害に強いまちとして	6
多摩ニュータウンの歴史	8





緑が多く、美しく整備されたまち

駅から徒歩圏内に多くの公園があり、散歩が楽しくなる小道も随所に整備されています。溜池や広大な雑木林、田んぼなどの里山の風景が楽しめる自然保全型公園、緑の茂みと小川に沿った「せせらぎ緑道」など、癒しのスポットとなっています。計画的に開発されたまち並みは美しく、ドラマの撮影地としても多く使われ、「都市景観の日」実行委員会主催の都市景観大賞なども受賞しています。

緑あふれるまち

多摩ニュータウンは全体の約 30%以上が緑豊かな公園緑地などのオープンスペースになっていて、整備された遊歩道を散策しながら季節の移り変わりを楽しむことができます。

魅力ある公園が多くありますが、唐木田駅近くの鶴牧西公園は複合遊具や健康遊具、芝生広場に市の天然記念物シダレザクラ、開発前の風景を再現したかのような水田エリアなど、さまざまな楽しみ方ができる公園です。

八王子市別所地区の長池公園は2つの溜池である長池と築池、広大な雑木林、田んぼなどの里山の風景が楽しみ、四季折々の自然を愛でることができます。



計画された美しいまち並み

富士山に向かって一直線に整備された道路や公園内に眺望ポイントを設けるなど、景観を重視した美しいまち並み実感できます。公園と歩行者専用道路を軸として形成された地区には、瀟洒なタウンハウスが落ち着いた街並みを形成しています。



歩車分離のペデストリアンデッキ

多摩ニュータウンの主要駅駅前では、車道を横断することなく直接商業施設へ入ることができるペデストリアンデッキなど、歩車分離道路が整備されています。買い物はもちろん、学校や公園へも安全・安心な移動ができます。



商業施設や観光スポットに多くの人が集まるまち

多摩センター駅、南大沢駅、若葉台駅などには、美しく整備されたまち並みに多くの商業施設が揃います。また、幹線道路沿いには魅力的なショッピングセンターが立ち並びます。屋内型テーマパークや遊園地、近郊には動物園などのレジャースポットも充実しています。

多摩センターエリア

駅から続く歩行者専用道路周辺には、さまざまな施設が立ち並んでいます。約 120 の専門店で構成するショッピングセンター「ココリア多摩センター」をはじめ、8 スクリーンを擁するシネマコンプレックス「イオンシネマ多摩センター」、サンリオキャラクターに出会えるテーマパーク「サンリオピューロランド」、日常使いのできるショッピングセンター「クロスガーデン多摩」など、まちはいつでも賑わいを見せています。



南大沢エリア

駅から降りてすぐに、南フランスをモチーフとしたまち並みの三井アウトレットパーク多摩南大沢があります。約 120 店舗の人気ブランドやメーカーが入り、キッズスペースが完備され、家族連れでゆっくりと楽しむことができます。

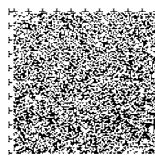
駅前には TOHO シネマズ、住民の生活用品を多く揃えるイトーヨーカドーなどがあり、華やかなまちを形成しています。



コラム

魅力的なレジャースポットは近郊にも

自然豊かな多摩ニュータウン近郊には、東京ドーム 11.2 個分もある「多摩動物公園」や、リニューアルを重ね進化し続ける「よみうりランド」など、多くのレジャースポットが点在しています。





文化や学びが育まれるまち

多摩ニュータウンではさまざまなイベントが開催され、まちは華やぎ、訪れる人々で賑わいます。

広大で緑豊かな環境のもとには大学や専門学校が点在し、若い世代がまちを活性化するとともに地域文化やコミュニティの一端を担っています。

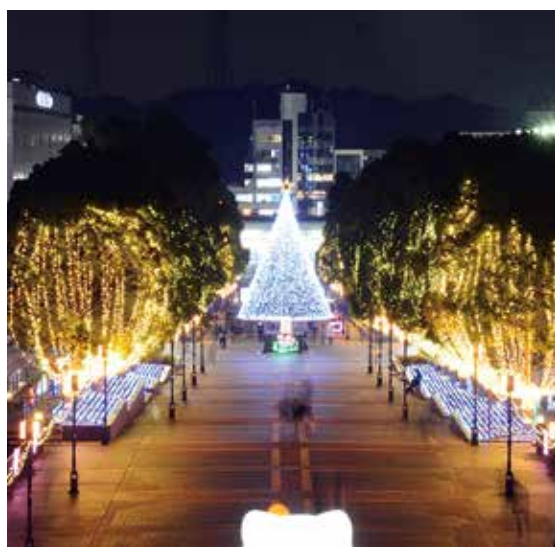
開催される多彩なイベント

多摩センター駅近くのパルテノン大通りでは多くのイベントが開催され、まちは活気と賑わいで華やぎます。

ひなまつり、スプリングフェスタ、こどもまつり、ハロウィンとイベントが開催され、クリスマスシーズンの11月から翌年1月まではイルミネーションが大通りを彩り、光に浮かび上がるキティちゃんが登場します。

南大沢駅近くの三井アウトレットパーク 多摩南大沢では、例年オータムマルシェが開催され、人気のベーカリーや八王子のグルメ・特産物が集まります。

* イベントは事情により中止・延期となることがあります。
お出かけの際はホームページなどで事前にご確認ください



大学や専門学校が数多くあるまち

緑豊かな広大な環境に、多くの大学や専門学校があります。東京都立大学、多摩美術大学、大妻女子大学、多摩大学、デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオのほか、多摩ニュータウン周辺には中央大学や帝京大学、明星大学、東京薬科大学、駒沢女子大学などもあり、若い世代が地域を活性化しています。

その専門性や充実した設備を地域に還元する学校も多く、住民の図書館利用や市民向け講座の提供など、地域に根差した学校運営を行っています。





交通ネットワークに優れたまち

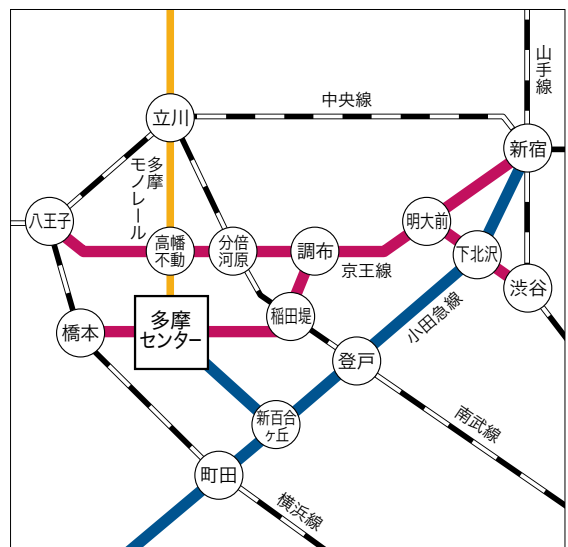
都心部まで約30分という利便性はもちろん、多摩ニュータウンには私鉄2路線とモノレールが通り、路線バスも充実していて、多方面に柔軟に移動できます。至近の橋本では、リニア新幹線新駅も予定され、利便性は今後ますます高まることが予想されています。

都心まで電車で約30分！

注目の立川や八王子にも近い

新宿や渋谷などの都心部まで電車で約30分という好アクセスが魅力の多摩ニュータウン。近年では鉄道会社が利便性のさらなる向上を目指してダイヤ改正を行い、より通勤通学のしやすい地域となっています。

多摩地域の一大拠点である立川や、古くから交通の要所である八王子までのアクセスも、多摩都市モノレールやJR横浜線、南武線、京王電鉄、小田急電鉄、路線バスなどの利用で良好です。注目を集めている立川駅周辺は百貨店が立ち並び、昭和記念公園沿いに進めばホテルや商業施設、劇場やミュージアムなどがオープンし、今後ますますの発展が期待されるエリアです。



コラム 災害に強いまちとして

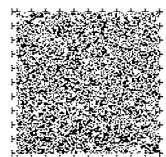
東日本大震災以降、地盤の安全性が高いとして、多摩ニュータウンは注目されています。多摩ニュータウン区域の地域危険度は、「建物倒壊の危険性」「火災発生による延焼の危険性」さらにその両者を併せた「総合危険度」ともランク「1」* になっています。(東京都「地震に関する地域危険度測定調査(第6回)」より)

一部の地域では無電柱化も行われ、災害時の電柱の倒壊による道路閉鎖や電線の切断などを防ぎ、都市防災機能が強化されています。また、地域を流れる多摩川水系の大栗川、乞田川、三沢川では、1時間当たり50mmの降雨に対処できる護岸整備が進められています。



多摩市内を流れる乞田川

* 諏訪一丁目と聖ヶ丘三丁目は、「火災発生による延焼の危険性」はランク2





多摩ニュータウン再生への取り組み

多摩ニュータウンは、住民の初期入居から約50年が経とうとしています。老朽化した公的賃貸団地や分譲住宅団地の建替・リニューアル、公共施設の充実などによって、あらゆる世代が住みやすい、住み続けたいまちを目指して再生に向けた取り組みが進められています。



Brillia 多摩ニュータウン

多摩ニュータウンで最も早く入居が始まった諏訪・永山地区の分譲住宅である諏訪2丁目住宅では、築40年の2010年に、住民の粘り強い話し合いと合意形成の下に、一括建替え決議を行いました。

住民が主人公となり、行政の支援も受けて、2013年全7棟1,249戸を有する「Brillia 多摩ニュータウン」へと生まれ変わりました。

「安心して住み続けられる街づくり」を合言葉に緑の環境とコミュニティを重視して計画は進められました。マルチルームにパーティールーム、コミュニティスペースや菜園等、住民同士がコミュニティを育める設備の充実や、保育所や高齢者支援施設、車いすやベビーカー使用を配慮したバリアフリー化など、高齢者も子供たちも安心して長く住み続けられる工夫が随所に行き届いています。

多摩市諏訪 2-2、4



ヴィヴァーチェ 諏訪児童館

隣接する諏訪2丁目住宅の建替えと共に、リニューアルしました。ヴィヴァーチェには、音楽用語で“快活に”という意味があり、子どもたちが元気にいきいきと遊べるようにという思いが込められています。丸い屋根と高い天井が特徴の遊戯室があり、諏訪第二公園に隣接している緑豊かな環境にあります。

2016年からは地域子育て支援拠点施設となり、地域の子育てを支える役目も担っています。

多摩市諏訪 2-8



ベルコリーヌ南大沢 (UR賃貸住宅)

レンガ色のシックな建物群やモニュメントのある広場など、ヨーロッパを思わせる美しいまち並みが続くベルコリーヌ南大沢。管理開始後30年が経過していることから、新しい試みにも取り組んでいます。

一部の住宅においては、UR都市機構と無印良品が連携した改修「MUJI×UR」を導入し、「こわしすぎず、つくりすぎない」をコンセプトとしたリノベーションを行っています。居住部分では、白を基調として、新しく開発された麻畳やキッチン等を用いることによって、新しいライフスタイルを提案しています。

またコミュニティの活性化を目的として、集会所を改修。木のぬくもりが感じられるコミュニティスペースや、パーティや料理教室などに利用できる大型キッチンを備えるなど、様々なコミュニティ活動に利用されています。八王子市南大沢 5-3



多摩ニュータウン諏訪団地 (都営住宅)

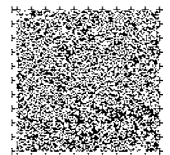
老朽化が進みバリアフリーに対応していないことから、1974年以前（昭和40年代）に建設された住宅の建て替えを進めています。中学校跡地と小学校グラウンド跡地を活用して住棟を建設し、エレベーターの設置や、福祉施設などを合わせて整備するなど、少子高齢化に対応した住環境の整備に取り組んでいます。

多摩市永山 3-12、多摩市諏訪 5-1

コラム 多摩ニュータウンの歴史

1966年 造成工事開始
 1971年 諏訪・永山地区の入居開始
 1974年 京王相模原線多摩センター駅まで開通
 1980年 多摩センター地区の業務・商業施設が一部開業
 1982年 鶴牧地区の入居開始
 1983年 南大沢地区の入居開始

1988年 京王相模原線南大沢駅まで開通
 1990年 小田急多摩線唐木田駅まで開通、京王相模原線が全線開通。
 1999年 若葉台地区の入居開始
 2000年 多摩都市モノレールが多摩センター駅まで開通





サイクリストに人気の 多摩ニュータウンサイクリングロード

多摩ニュータウンには、サイクリストが好んで走るサイクリングロード「南多摩尾根幹線道路（通称：尾根幹）」があります。一般道路ですが、比較的路肩が広いこと、直線道路で緩やかなアップダウンが繰り返されトレーニングとして最適なことなどで人気です。

全体的に緩やかな傾斜で初心者でも走りやすい一方、基本ロードを外れて傾斜のきついロードを走ったりとバリエーションをつくりやすいのも人気で、週末になると多くのサイクリストが集まります。ロード沿線にはサイクリスト御用達の店も点在しています。

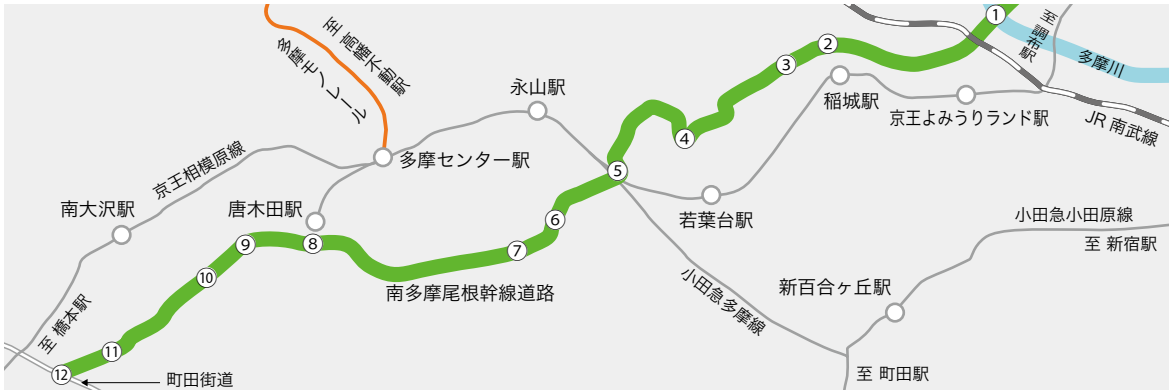


イメージ



自転車トレーニングに最適“南多摩尾根幹線道路”

東京都調布市の多摩川原橋から町田市小山町の町田街道までを結ぶ約 17 km のロードです。



◆ロード概要

①多摩川原橋～②稲城第一中学校前～③稲城中央公園前～④若葉台公園前～⑤多摩東公園前～⑥多摩給食センター前～⑦多摩卸市場前～⑧唐木田大橋～⑨ぐりーんうおーく多摩前～⑩長池公園前～⑪小山長池トンネル～⑫町田街道合流地点

多摩ニュータウンが オリンピック自転車ロードレースの一部コースに

国際自転車競技連合 (UCI) の承認を得て、東京 2020 オリンピック競技大会の自転車競技のロードレース (男子/女子) が、多摩ニュータウンを通過するコースで行われることになりました。

男女ともに武蔵野の森公園からスタートし、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県を通過して富士スピードウェイがゴールというコースです。多摩ニュータウン内では稲城市から南多摩尾根幹線道路を進み多摩市に入り、多摩センター駅前の多摩中央公園通りを抜け、多摩ニュータウン通りを多摩市から八王子市へと進み、多摩ニュータウン通りの終着点でもある町田市の町田街道へ続きます。



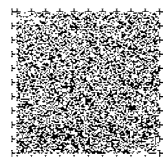
南多摩尾根幹線道路



多摩ニュータウン通り

ロードレース競技の魅力

多くの自転車ロードレースでは、スタート地点からフィニッシュ地点まで周回せず一本線のように走るコースが一般的です。そのためレース中継映像では、選手を応援しながら次々と移り変わる景色も楽しむことができます。基本的に公道で開催されるので、レースのない日であれば誰でもレースで使用する道を走ることができる、これも大きな魅力のひとつとなっています。





多摩ニュータウンを構成する市 八王子市

人口増が落ち着きつつある一方で、一部地域では増加傾向が継続

市の人口：561,622人（2020年3月末日現在）

市の面積：186.38 km² 市の木：イチョウ 市の花：ヤマユリ



八王子市は都心から西へ約40キロメートルの位置にあり、北・西・南を丘陵地帯に囲まれる盆地状の地形です。1917年の市制施行から100年以上を経ている、2015年には東京都初の中核市となりました。21の大学を抱えた学園都市でもあります。

八王子は古くから養蚕や織物が盛んで、「^{そうと}桑都」と呼ばれ発展してきました。現在では反物の他、ネクタイや傘地など雑貨織物の生産も行われ、「多摩織」は伝統工芸品の指定も受けています。市内にある東京都唯一の道の駅「八王子滝山」では、地元で栽培された沢山の恵みが並んでいます。

ミシュラングリーンガイドで3つ星を獲得した高尾山は、八王子を代表する観光地です。薬王院では迎光祭や火渡り祭をはじめ、年間を通じて多くの祭事が行われています。また、2020年に「^{そうと}霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」のストーリーが東京都初の日本遺産に認定されました。そのほか、八王子まつり、八王子花火大会、子安神社泣き相撲など、市内では伝統ある多くの祭りが行われています。



霊気満山 高尾山



八王子まつり

◆八王子市における多摩ニュータウンの特徴

多摩ニュータウン八王子市域には、現在約9万人が住んでいます。今後も戸建住宅の新規建設や、相模原市橋本駅周辺に計画されているリニア中央新幹線新駅によって、さらなる可能性が期待されている地域でもあります。

鍵水地区では、集合住宅や戸建て住宅が、緩やかな起伏の地形に整然と配置され美しいまち並みを形成しています。

別所地区ではまちのデザイン性を重視して、公団分譲住宅、公団賃貸住宅及び都営住宅それぞれのデザインを統一しています。東京四谷にあった陸橋が移築された長池公園もこの周辺にあります。

多摩ニュータウン西部の中では入居が早期に開始された南大沢地区は、ヨーロッパの山岳地方をイメージしてデザインされたまち並みが美しく、「八王子景観100選」の一つに数えられています。



長池公園（長池見附橋）



ベルコリーヌ南大沢のまち並み



多摩ニュータウンを構成する市 町田市

未来に向かって発展するまち 町田グランネットタウン

市の人口：429,321人（2020年8月1日現在）

市の面積：71.55 km² 市の木：ケヤキ 市の花：サルビア



東京都の多摩地域南部に位置する町田市は、1958年に東京都で9番目に市制が施行されました。観光の魅力は「古き良き自然・伝統」と「新しい文化」の共存で、駅前に近代的な大型店舗が立ち並ぶ一方、駅周辺には何十年も続く老舗が並びます。また、市北部には里山の風景が残り、歴史を感じさせる古道や寺社・史跡などがその姿をとどめています。

町田市の農業は、生産者と消費者の距離が近いという利点を生かし、少量多品目栽培が行われています。加工肉や味噌、竹豆腐、柿ワイン禅寺丸などの農畜産加工品も多くあります。

2020年8月に、市内の芹ヶ谷公園にポケモンマンホール「ポケふた」が6枚設置されました。これはポケモンの生みの親である田尻智氏と町田市の縁から実現したもので、フシギダネ、ヒトカゲ、ゼニガメなどの初代ポケモンたちに町田モチーフが加味され、色鮮やかで町田でしか出会えないデザインばかりです。



薬師池



町田市「ポケふた」お披露目会

◆町田市における多摩ニュータウンの特徴

町田グランネットタウンは、多摩境駅開業とともに急速に発展した地域です。公園や緑地帯を配したまち並みに、大型の居住空間を擁した集合住宅や戸建てが立ち並びます。予定されているリニア新幹線の新駅も至近距離にあり、幹線道路の国道16号や20号も近いことから、近隣には教育施設や大型企業の進出も多く見られます。今後の発展がますます期待できるエリアです。



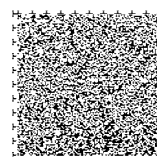
多摩ニュータウン通り



大型の商業施設が立ち並ぶ多摩境駅通り



多摩境駅周辺





多摩ニュータウンを構成する市 **多摩市**

都心へのアクセスが良く、豊かな緑があふれる

市の人口：148,829人（2020年8月1日現在）

市の面積：21.01 km² 市の木：イチヨウ 市の花：ヤマザクラ



多摩市は多摩地域南部に位置し、多摩川と多摩丘陵の稜線の間にあります。京王線、京王相模原線、小田急多摩線、多摩都市モノレール線の4路線が通り、交通の利便性や自然豊かな住みやすい環境などから2015年には「住みよさランキング（東洋経済新報社）」の総合評価で東京都3位に選ばれました。

多摩センターのバルテノン大通りでは、こどもまつり、夏祭り、ハロウィン、イルミネーションなどのイベントが多く開催されています。国内外から多くの人を訪れるサンリオピューロランドは、多摩センター駅の近くにあります。

多摩市では、多摩センターを「ハローキティにあえる街」としてPRし、まちの活性化に取り組んでいます。また、多摩センター立地企業などの協力で、「ハローキティ」のデザインマンホールが設置されています。

多摩市の特産品は、多摩市産の米を100%使用した日本酒「原峰のいずみ」や、無添加手作り味噌「原峰のかおり」があります。



多くの人で賑わうバルテノン大通り

◆多摩市における多摩ニュータウンの特徴

市内には多摩ニュータウン第一次入居地区である諏訪地区、永山地区、第二次入居地区の愛宕地区をはじめ、豊ヶ丘地区、落合地区など、計10地区の住区があります。それらの住区の住宅は開発初期に「大量供給」された規格型の住宅タイプからオープンスペースや広い住居空間に重点を置き、時代の流れと共に「量から質へ」と開発計画が変化したものまで建設され、バリエーション豊かな住宅が立地しています。

また、多くの公園や遊歩道が整備されたゆとりある美しいまち並みで、特に遊歩道は、丘陵地である地形を活かした立体交差の歩車分離を実現し、その総延長は約41kmの長さを誇り、多摩ニュータウンの大きな特徴となっています。

まちびらきから約半世紀を経て、多摩市では諏訪地区・永山地区を中心に、健幸都市の実現と若い世代を惹きつける持続的なまちを目指し、再生への取り組みがたゆみなく進められています。



多摩センター駅近くの多摩中央公園通り



まち全体が緑に包まれるような多摩市の街区



多摩ニュータウンを構成する市 稲城市

向陽台・長峰・若葉台の3つの住区からなる『ファインヒルいなぎ』

市の人口：91,984人（2020年8月1日現在）

市の面積：17.97 km² 市の木：イチヨウ 市の花：梨



稲城市は多摩ニュータウンの東に位置し、北側に多摩川が面し、多摩川沿いの平野と緩やかに起伏した多摩丘陵で構成されます。市内には京王相模原線とJR南武線の2路線が通り、都心まで約30分、人気の立川駅やリニア中央新幹線駅開業予定の橋本までも至近距離にあります。古くから梨やぶどう、近年ではブルーベリーなどの産地としても知られ、直売所や市民農園、観光農園などが多く点在しています。

5月の「手作り市民まつり」、10月の「^{あい}のまちいなぎ市民まつり」では多くの市民が参加して交流を深めています。また、若葉台地区の「上谷戸ホテルのタペ in 稲城」ではホテルの鑑賞ができます。

市内にあるよみうりランドは遊園地だけでなく、夏はプール、冬はイルミネーションなど、年間通して多くの人を訪れます。また稲城市は、プロ野球球団「読売ジャイアンツ」の2軍本拠地、プロサッカーチーム「東京ヴェルディ」のホームタウンでもあります。



梨畑



若葉台地区 上谷戸親水公園

◆稲城市における多摩ニュータウンの特徴

稲城市の多摩ニュータウン区域は、丘陵の地形を生かした美しいまち並みが整備され、幹線道路沿いに商業施設を配置し、歩行者に配慮した道路整備が行われました。

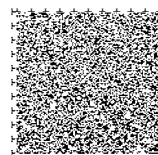
向陽台地区は、美しい景観を目的に丘陵の地形に合わせて建物の高さが低層から高層となるように住宅が整備されています。

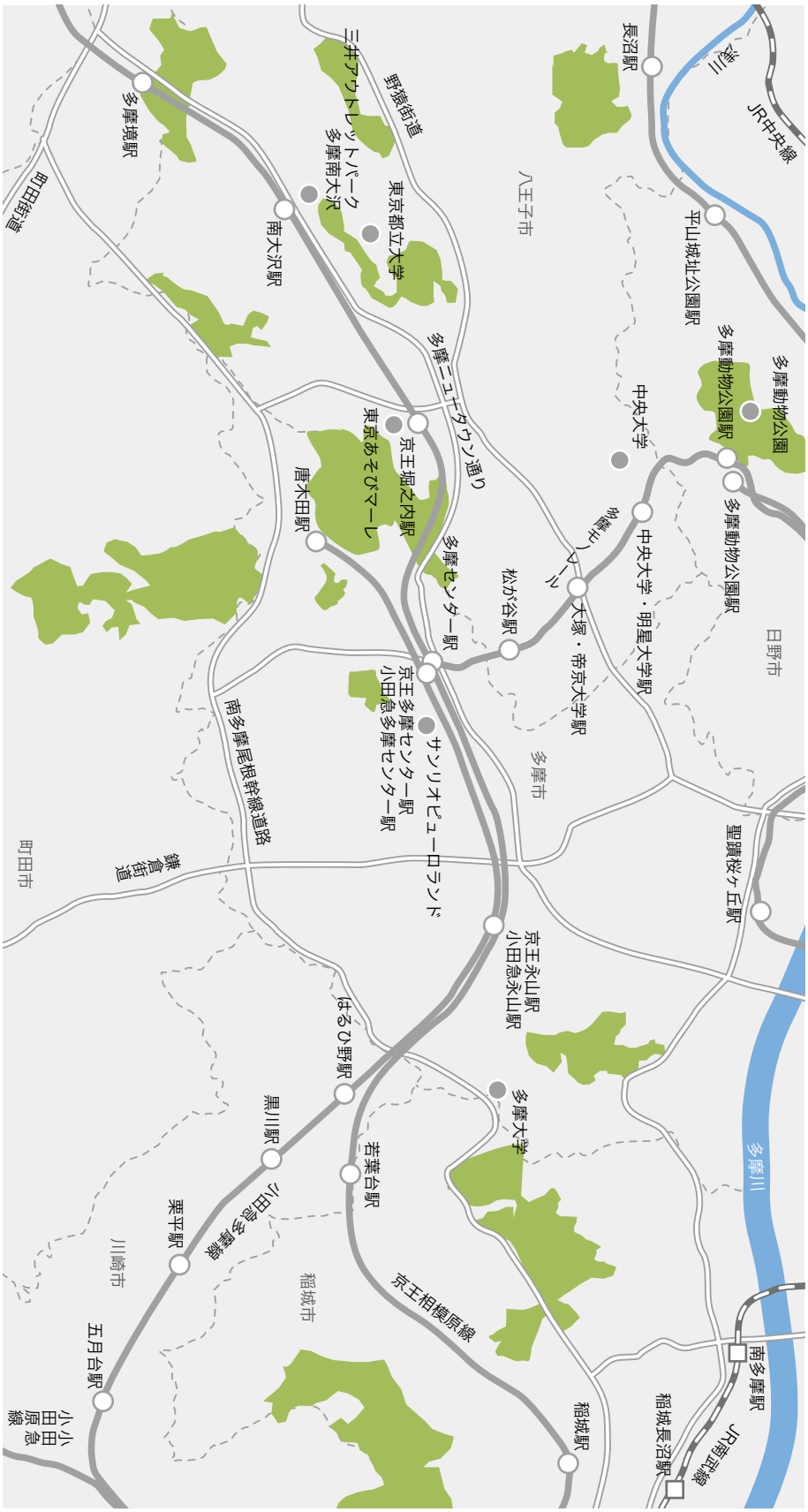
長峰地区は、稲城中央公園・長峰ヴェルディフィールド・上谷戸親水公園など、緑豊かでレクリエーション機能を持った公園に囲まれた地区です。「星の見えるまち」をコンセプトに整備され、落ち着いたまち並みが広がっています。

若葉台地区には、多くの商業施設が集まっています。駅の北口から若葉台公園にかけてはユニバーサルデザインに配慮された歩行空間が整備され、歩道と合わせて子どもが安心して遊べる憩いの場づくりがされています。



向陽台地区 丘陵の地形に合わせた住宅棟





魅力がたくさん！丘陵のまち 多摩ニュータウン

令和5(2023)年2月発行 登録番号(4)83

■発 行：東京都都市整備局市街地整備部多摩ニュータウン課 ■印 刷：シーアンドセットコミュニケーション株式会社
 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
 電話 03-5320-5472 (直通)

※本誌掲載のデータは特に断りがない限り2020年10月のものです。発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際にはホームページ等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は、補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいませ。

